

一般下地用

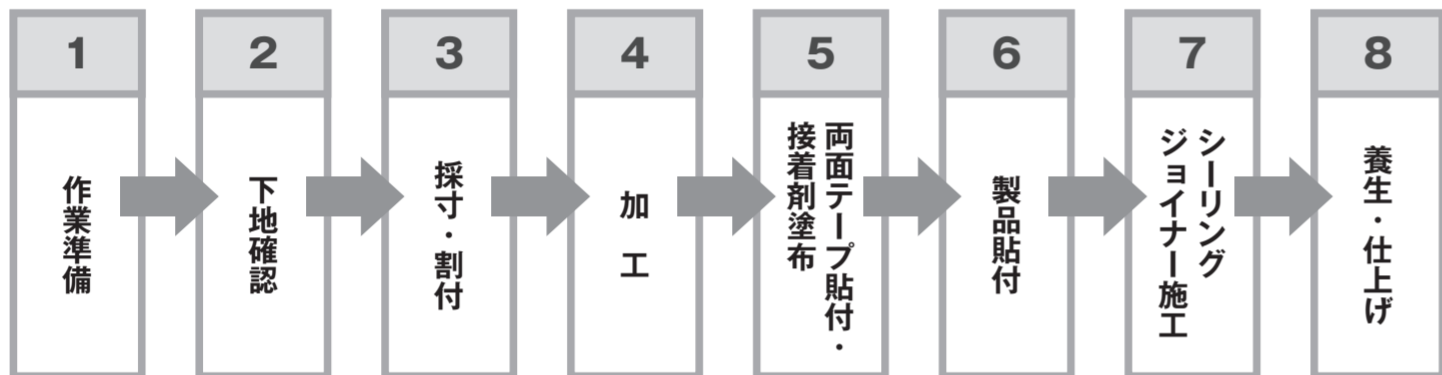
- 施工前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
- 同梱の取扱説明書は必ずお施主様にお渡しください。
- 施工される前に品番及び輸送時の破損・傷の確認をお願い致します。その後の責任は負いかねますので、ご注意ください。
- メラミン不燃パネルは建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従って施工してください。
- メラミン不燃パネルは環境の変化により伸び縮みがあります。必ず注意事項に従って施工してください。
- メラミン不燃パネルは浴室用途や水を大量に使用する施設の壁面には使用できません。
- メラミン不燃パネルは保護フィルムの貼り付け面が表面です。
- 湿気を帯びた下地・施工後に湿気を帯びる可能性のある下地や、高温度・高湿度になる場所には施工しないでください。(剥がれや浮きの原因となります)
- 搬入時、現場内での運搬はメラミン不燃パネルがたわむため、2人以上で作業を行ってください。
- 5℃以下の環境では施工しないでください。(接着剤の硬化不良の恐れがあります)
- 接着剤、シーリング材、プライマーについては、安全データシート(SDS)をご確認ください。

① 安全についてのご注意

下記の注意事項は、ケガや事故を事前に防止するためのものですので、必ずお守りください。

注意事項	想定される危険性
<ul style="list-style-type: none"> ● 専用両面テープ・専用接着剤以外は使用しないでください。 ● 下地施工は材料メーカーが指定する方法を厳守してください。 	剥がれによる落下の恐れ
<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭用加熱調理機器とメラミン不燃パネル表面とは十分な距離を離してください。詳細については本紙5ページをご参照ください。 ● 業務用加熱調理機器の場合は、家庭用に比べ熱量が極端に高く、近接する部位にはご使用できません。 	表面変色の恐れ
<ul style="list-style-type: none"> ● 運搬・作業時には滑り止め手袋を着用するとともに、加工時に粉じんが発生するため、保護マスク・保護メガネを着用してください。尚、防じん丸のこを使用し、換気を良くして作業を行ってください。もし、粉じんが皮膚についたり、目・鼻・口に入った場合は、速やかに水で十分洗い流してください。また、異常を感じたら医師の手当てを受けてください。 ● カット・加工した端部で手を切る可能性があるため、必ず端部をサンドペーパーで面取りをしてください。 	けがもしくは健康障害を生ずる恐れ

施工の手順



1

2

施工前の確認

1

作業準備

- 施工前に品番、数量及び運送時の破損、傷の確認をしてください。その後の責任は負いかねますので、ご注意ください。
- 製品の保管時は、屋内の平らな場所に厚板やパレットの上に平積みしてください。また、直射日光や水のかからないようにしてください。
- 下記工具をご用意ください。
 - ・ 副資材：専用接着剤、専用両面テープ、コーキング剤、ジョイナー、マスキングテープなど
 - ・ 保護具：保護手袋、保護メガネ、防塵マスク
 - ・ 採寸・割付：木槌、振り下げ、水平器、指金、墨つぼ、スケール、メモ用紙、筆記用具
 - ・ 加工：電動鋸、ドリル、合板(下敷き用)、ダイヤモンドソー又はチップソー、ホールソー、ルーター、トリマー、サンドペーパー、ケガキカッター、ハンディソー、金ヤスリ
 - ※施工時における切断刃物について
 - 刃物には「外径」「刃厚」「刃数」の規格があります。
 - 「外径」「刃厚」はお手元のハンディソーに合ったものをご用意ください。
 - 「刃数」はできるだけ多いものをご使用ください。(例：φ100の場合P100、φ125の場合P80)
- ・ 仮止め貼付、接着剤塗布：ウエス、カッターナイフ、コーキングガン
- ・ 製品貼付：吸着器
- ・ 仕上げ：清掃用具、中性洗剤、木ヘラ

2

下地確認

重要

まずはメラミン不燃パネルの施工が可能かどうか確認ください。

1. 下地の種類のチェック

適しない下地について

- 湿気を帯びた下地
- ALC躯体への直貼りはできません。
- RC壁面への直貼りはできません。
- 塗装面・クロス面・化粧面への直貼りはできません。
- ※その他、下記「施工可能な下地」に該当しない下地の場合は、必ず当社までお問い合わせください。

施工可能な下地について

- プラスターボード(推奨12.5mm以上)
- モルタル面(含水率4.5%以下・接着強度1.0N/㎡、平滑な金ゴテ仕上げ、不陸2mm以下)
- ケイカル板(推奨6mm以上・比重0.8以上)
- ラワン合板(推奨9mm以上)

① ご注意

※下地材の選定と構造の作成は建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合する様に行ってください。

下地材がモルタル面・ケイカル板・合板の場合

メラミン不燃パネルを貼付ける部分の下地材全面に予めプライマーを塗布してください。

① ご注意

※推奨プライマー以外のプライマーを使用する場合取扱い説明書をよくお読みの上ご使用ください。

プライマーを全面に塗布してください。

推奨 セメダイン製
プライマー[MP-2000]

躯体への下地材固定方法について

① 軽量鉄骨壁下地

スタッドは65形以上を使用してください。
下地材(プラスターボード等)を専用ビスで200~300mmピッチで固定してください。
※枠廻り・出隅・入隅部分の下地材端部はビスで確実に固定してください。

② RC壁

- モルタル仕上げの場合
モルタルはRC壁に対して接着が良いものを選定し、不陸がないように金ゴテ仕上げとしてください。
※モルタルの含水率が4.5%以下になってから施工してください。(接着強度1.0N/㎡以上)
- 木胴縁の場合
24mm×45mm程度の縦・横胴縁を300mmピッチで躯体にアンカー・カール・釘などで固定し、下地材(プラスターボード等)を専用ビス(200~300mmピッチ)と接着剤を併用して固定してください。
- GL工法の場合
プラスターボードメーカーの仕様を厳守してください。
※GLボンドは水性ですので、施工後は養生を充分取ってください。目安として約20日間は養生が必要です。(乾燥したことを確認してから施工してください。)

2. 下地の施工精度のチェック

- 壁面の水平・垂直の確認を行ってください。
- 壁面に不陸がないようにしてください。

3

採寸・割付

下記の注意事項を遵守して割り付け・下地処理を行ってください。

① 割り付け時の
注意点

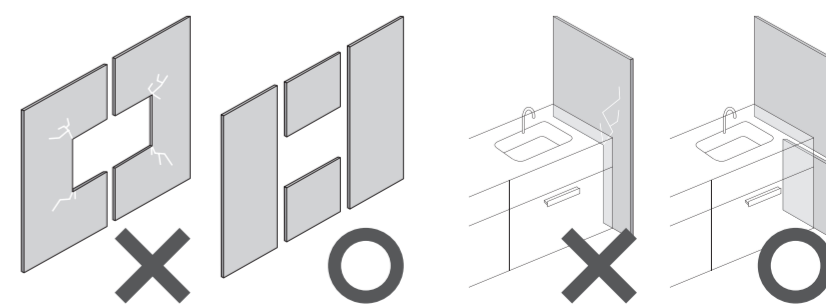
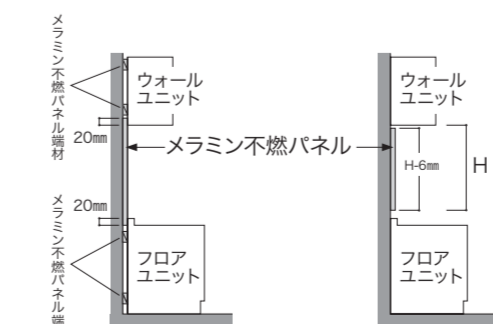
- 下地材の目地とメラミン不燃パネルの目地が重ならないように、割り付けてください。
- メラミン不燃パネルで突き付け施工はできません。
- シーリング材・目透かして施工される場合、3mm以上の目地を取ってください。ジョイナーで施工される場合も、必ずクリアランスを取ってください。
- 開口部の位置及び外観を考慮して、端材が少なくなるように割り付けてください。

キッチンで使用する場合

切り欠き部がある場合

パネル先付け納まり

パネル後付け納まり



- パネル先付け納まりの場合、吊り棚・天板へ20mm呑み込ませて割り付けてください。また、パネル後付け納まりの場合、吊り棚・天板とのチリ3mmを取って割り付けてください。
- 左右の割り付けはチリ3mmを取ってください。

- 上図のような切り欠き部が大きい場合、クラック発生恐れがあります。(上図のような場合、切り欠きではなく、複数枚を使用する割り付けとしてください。)

3

4

キッチン部壁面の下地構造は法令に従い、施工してください。また、メラミン不燃パネル表面への極度な熱伝導を防ぐため、次のことが守られていることを確認してください。

ビルトインタイプコンロの場合

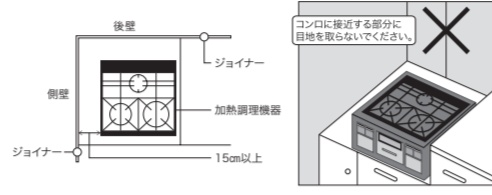
- コンロの側面からメラミン不燃パネルの表面まで15cm以上離してください。15cm以上離せない場合、コンロの熱により変色やコゲが発生する場合がありますので防熱板を使用してください。
- グリルの排気口が背面側に設置しているタイプのクックトップについてはグリル排気が壁面が高温になり、変色やコゲが生じる場合があります。奥行き65cm未満のカウンターで使用する場合は防熱板を使用してください。
- 奥行き65cm以上のカウンターで使用する場合はコンロやグリルダクトと壁面が近接する位置に設置するなど、壁面が高温になる懸念がある場合は防熱板を使用してください。

据え置きタイプコンロの場合

- 据え置きタイプのコンロで壁面とコンロの距離が15cm以上離せない場合(側面、背面)は防熱板を使用してください。防熱板を設置する際、防熱板メーカーの施工説明書に従って壁面との距離を必ず取ってください。

- ※以上の条件を満たしても直接炎がメラミン不燃パネルに当たらないようにご注意ください。
- ※コンロの周囲の壁面構造は各自治体の火災予防条例などにより規制されます。規制に従った構造を作成してください。
- ※4600kcalを超える業務用コンロに近接する部位には使用しないでください。
- ※加熱された鍋類が直接メラミン不燃パネルに触れる事が無いようにしてください。
- ※メラミン不燃パネルの表面化粧層の耐熱温度は180℃以下となります。それ以上の熱が加わると化粧層に変色やコゲ、化粧層の剥離が発生することがあります。(変色やコゲ、化粧層の剥離が発生しても不燃性能には影響ありません)

ジョイナー使用上のご注意
 コンロ廻りのご注意
 コンロに近接する部位に目地を取らないでください。

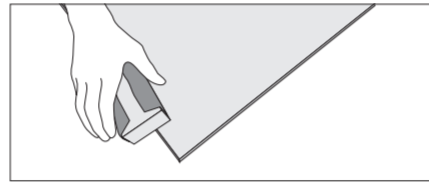
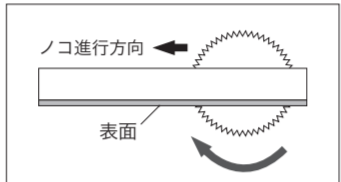


4 加工

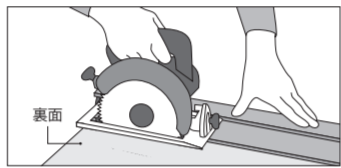
下記の注意事項を遵守してカット・穴あけ・切り欠きを行ってください。

① カットする時の注意点

- 切断は当木を用いて、必ず刃物を表面から入れて裏面から出るようにしてください。(表面には保護フィルムが貼ってあります)
- 保護フィルムが付いていますが、取り扱いには充分ご注意ください。



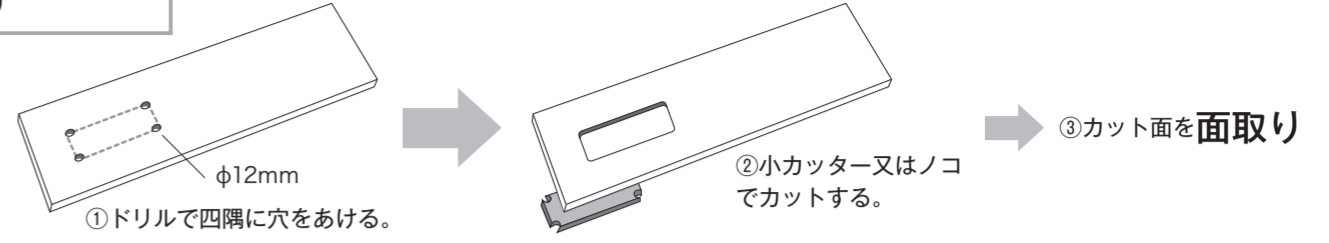
面取り方法
 カット面はサンドペーパーを当木にそえて面取りしてください。



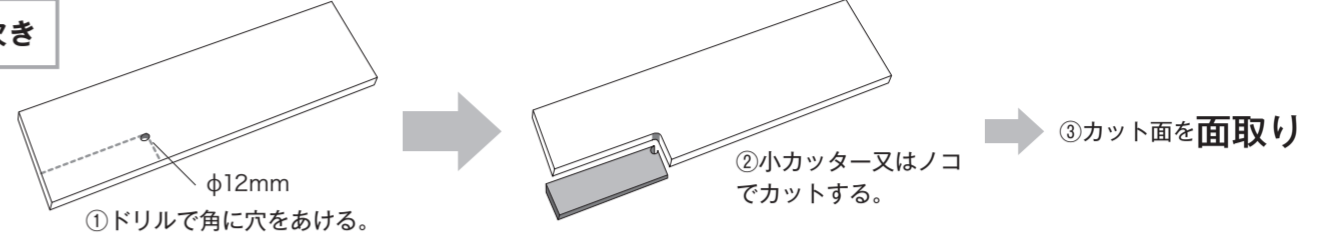
① 穴あけ・切り欠きの注意点

- 穴あけ・切り欠きは必ず12φ以上の刃物を用いて、表面からコーナー部に穴をあけてから行ってください。
- カット後のバリ・カケは、クラックの原因となる場合があります。カット面をサンドペーパーで平滑にしてください。

コンセントなどの穴あけ

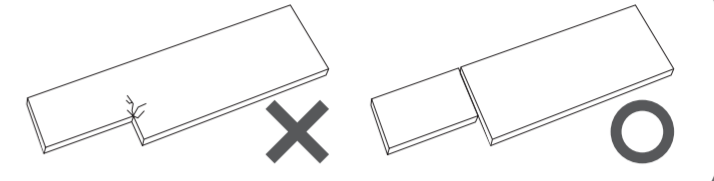


切り欠き



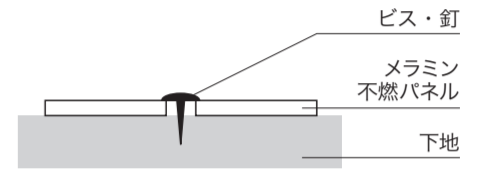
① ご注意

- 右図のようにピン角でカットした場合、クラック発生の恐れがあります。ピン角でカットした場合、切り欠きではなく複数枚を使用する割り付けとしてください。



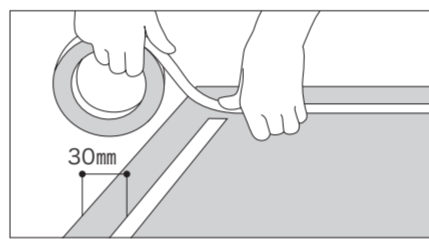
① ビス・釘打ちの注意点

- ビスや釘をメラミン不燃パネルに直接打たないでください。ビスや釘を打つときは、ビスや釘の直径より大きい穴をあけてください。
- ※直接打ち付けるとひび割れの原因となる場合があります。



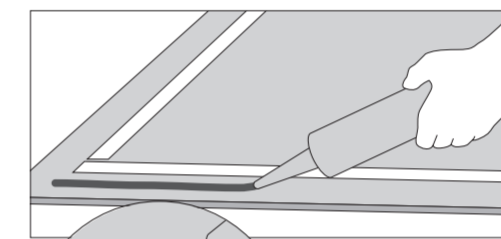
5 両面テープ貼付・接着剤塗布

下記の注意事項を遵守して、専用両面テープ貼付・専用接着剤塗布を行ってください。



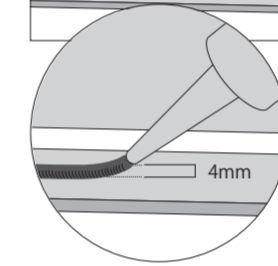
① テープ貼付けの注意点

- メラミン不燃パネルの端部に接着剤を塗布するためのスペース30mmをあけて、両面テープを貼付けてください。
- 両面テープは仮止め材です。接着目的に使用しないでください。



① 接着剤塗布の注意点

- 接着剤は高さ4mmを目安に塗布してください。
- メラミン不燃パネル外周には必ず接着剤を塗布してください。



- メラミン不燃パネル3尺×8尺1枚に対して、接着剤を1本が目安の塗布量です。塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。
- 接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着してください。

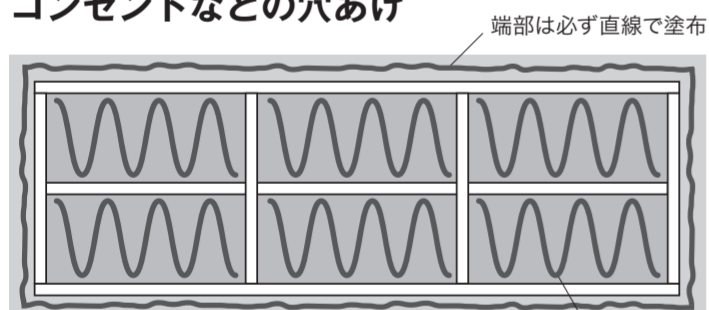
<専用接着剤使用時のご注意>

気温は5℃以上で施工を行ってください。

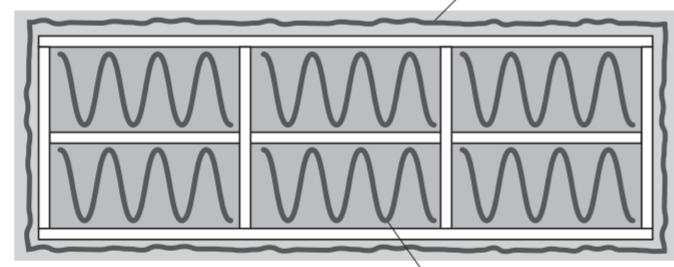
標準塗布パターン



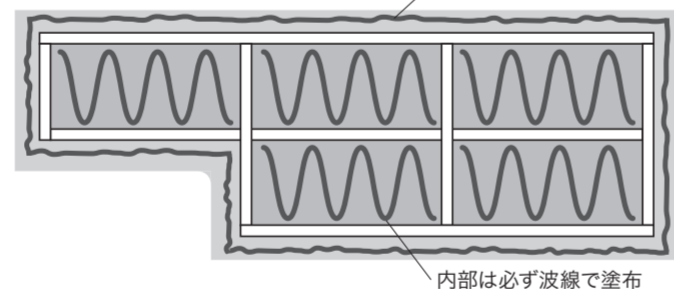
コンセントなどの穴あけ



一般



切り欠き



○開口部・切り欠き部は、両面テープ・接着剤により補強してください。(下地側に両面テープ貼付け・接着剤塗布する場合も同様です)

穴あけ部分拡大図

6 製品貼付

下記の注意事項を遵守して貼付け・圧着を行ってください。



① 貼付け時の注意点

- メラミン不燃パネルを貼り付ける際に、中央部に浮きが発生しないように注意してください。
- 又、貼付け時は開口部・切り欠き部に歪みが発生しないようにしてください(施工後のクラックの原因になる場合があります)。
- ※両面テープが壁面に一度接着すると、調整ができなくなります。

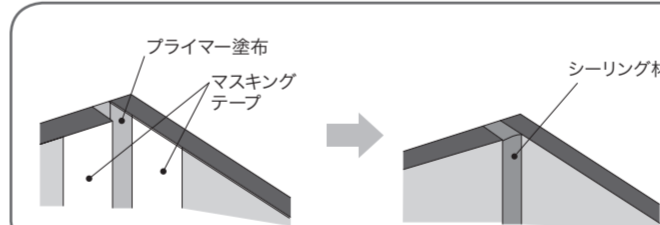
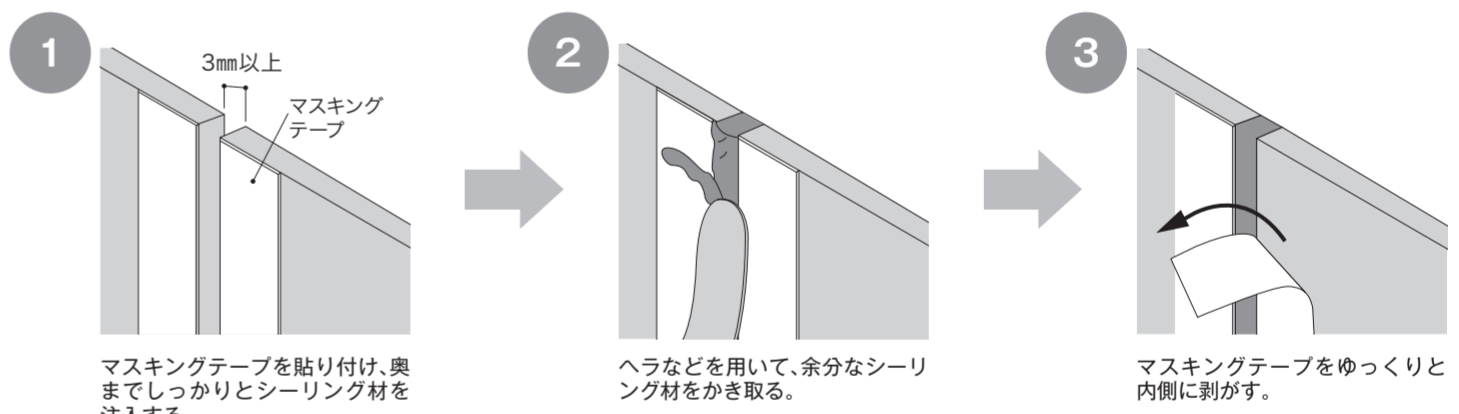


① 圧着する時の注意点

- 両面テープ部をしっかりと押さえてください。
- ※接着剤部を押さえると泣き別れの恐れがありますのでご注意ください。
- プラスチックハンマー等を使用するときは当て木を使用し、直接メラミン不燃パネルを叩かないようにしてください。
- ※直接メラミン不燃パネルの表面を叩き付けるとクラックの原因になる場合があります。

7 シーリング・ジョイナー施工

下記の手順に従ってシーリングを行ってください。(シーリング材納まりの場合)



① ご注意 入隅のシーリングについて

- メラミン不燃パネルの表面はシーリング材の密着が悪い為、メラミン不燃パネル表面にシーリング材を塗布する場合は必ずプライマーを使用してください。

①ジョイナー部納まり			
平目地	見切り部	出隅	入隅

① ご注意

- ※ジョイナー納まりの場合は、メラミン不燃パネルに差し込んでから施工してください。また、ジョイナーは両面テープ等を用いて、しっかりと固定してください。
- ※水廻りにて施工する場合、必ずジョイナーの中にシーリング材を注入して施工してください。

8 養生・仕上げ

- メラミン不燃パネル及び副資材に使用した専用接着剤、シーリング材が硬化するのに24時間かかります。硬化するまでは動かさないでください。
- 表面の汚れは、柔らかい布に水を含ませて軽く水拭きしてください。尚、水拭き後は空拭きで水分を拭き取ってください。汚れが取れない場合は、アルコールなどで拭き取ってください。
- モップ・ブラシ等をパネルに強く当てますと、へこみやキズの原因となります。また金属たわし、ナイロンたわし、研磨剤入りの洗剤等を使用すると表面にキズが付きます。
- 酸性又は強アルカリ洗剤等は、メラミン不燃パネルの表面を変色させる恐れがありますので使用しないでください。